

平成28年度 南アルプス市 まち・ひと・しごと創生審議会 議事録

日時 : 平成28年8月30日(火) 13:30~15:00

場所 : 南アルプス市役所本庁 大会議室

議題 : (1) 今年度の審議会事務(検証)について  
(2) 総合戦略アクションプランの検証について

司会進行 事務局

1 開 会

2 自己紹介

各委員より自己紹介

3 会長あいさつ

昨年の6回の審議会を開催し、人口ビジョン、総合戦略、アクションプランを作成した。PDCAサイクルにより今年度からは、年1回の検証をしていく。新しい人の流れ、新しい仕事を作り、子育て支援、若者が住みよいまちづくりを目指していく。

厳しいチェック、将来に向けてどのようなプランを提案すれば、より良いまちづくりに繋がるか検証議論をお願いする。

4 議 事 会長

(1) 今年度の審議会事務(検証)について

事務局から説明(資料1)

- ・ 昨年の振り返り(策定)、今年度、委員に行ってもらうことを説明する。
- ・ 職員により内部評価をした。内部評価したものを委員に検証してもらう。
- ・ 検証の方法 交付金の対象となった事業を優先に検証する。

質疑応答

○委員

①人口ビジョンの現状について、大学進学期の転出数増加と記載であるが、18歳人口の減少は就職進学との表現ではなかったか、社会減の理由だとすれば高等教育機関の誘致をプランに入れるべきだったのでは。

⇒A. 限定的に表現してしまっただが、人口ビジョンのとおり。

②総合計画があるが、そちらの検証とどのようにリンクしていくのか。

⇒A. 行政評価システムを全庁的に行っている。総合計画の事務事業と総合戦略の

アクションプランがリンクしてくる。

③先行型交付金を優先して検証していくことは良いが、未着手の事業の検証はどのように取り扱うか。

⇒A. 28年度以降に実施する事業はあるが、予定どおり事業開始できなかったものは無い。概ね予定どおり実施できている。

○委員

①人口ビジョンに高校卒業後の就職や進学と記載されているため、資料1を直す必要がある。

②就職、結婚、子育てを機会にした転入数の減少について、出生数の減少につながってくる。転入数は減少しているのか。原因は。

○委員

上記委員の意見に対して、資料1はH27年度に決めた概要版の説明である。人口ビジョンに記されている。

(2) 総合戦略アクションプランの検証について

事務局から説明(資料2)

- ・総合戦略アクションプランについて、内部評価の結果を交付金対象事業中心に説明する。
- ・H26年度を現状値、H27年度を実績値、H31年度を目標値

質疑応答

○委員

外国人誘客事業に期待。ホームページを充実するための方法内容を示してもらいたい。

⇒A. ホームページリニューアル事業とあわせて見易さや観光客が来たいと思うような取組みをしていくこととしている。ホームページリニューアル事業は、各部局から担当をだして検討していく。

⇒会長 インバウンド観光で、多くの方が入ってきている。これを充実し新たな人の流れをくることは重要である。

○委員

コミュニティバスについて、非常に乗っている人が少ない。事業の対策取り組み内容や自治会の意見を取り入れているか。

⇒A. 昨年の10月からスタートし、7月末現在で17,000人以上の利用、年間見込みは20,000人。1台あたり平均2.3人。便数を増やし連結がスムーズになるようにやっている。利用状況をみながら検討していく。自治会の要望も聞きながら進めていく。

○会長

事務局で内部評価した結果について検証をお願いしたい。

○委員

子育て支援について、ネットワーク拡大事業は盛大に開催されている。非常に効果があったと思う。

芦安高齢者見守り事業について、巡回をしたときに高齢者がどのような福祉の要望があるのかが聞ければ連携して事業を推進していきたい。

○委員

子育て関連について、市外からもこんな良いものがあるのなら南アルプス市へ住みたいとの声も多く聞いた。きめ細やかな事業を支援者同士横の繋がりがあり、子育て支援、健康増進課、福祉総合相談課など全体の力でパワーアップしている。

指標について、利用者数などがあるが、利用して実際にどのような効果があるのかなどが大事なのではないか。そのような検証が必要。交通関係の指標が全て同じになっているのは何故か。

⇒A. 成果については、何に結びついているかが大事。同じジャンルの事業が集まって、効果がでてくるものもある。総合的に成果がでてきて上位目標に結びついていくため同じ指標にしているものがある。

○委員

①幹線道路などが整備された周辺の計画的な開発が必要。しっかりとした計画を作つてすすめる必要があるが今後やっていくのか。

⇒A. 幹線道路については、道路整備プログラムに基づき進めている。

②環状線の活用については、どのように考えているのか。道路整備プログラムに関連し周辺の開発ができるのか。

⇒A. 総合的な土地利用に関しては、国土利用計画が上位にあるが本市には無い。本市では、都市計画マスタープランが土地利用の上位計画がある。マスタープランの指針に基づき、まちづくりを誘導・見直ししていく。

○委員

①成果目標としている数値について、アクションプラン個別施策工程表と資料2の指標。項目がリンクしていないのではないか。

⇒A. 個別施策工程表については、いくつかの事業がまとまっているものがある。プラスアルファの部分があり1つ上の段階となっている。78本の個別の成果指

標は、見直したりより有効な指標を取ったりしている。指標が複数あるものもあり、原則は一致するが、若干馴染まないものもある。現段階では、個別施策工程表の評価はできない。

②指標がリンクしていないとわかりづらい。最終的には数値を目指しているが、現段階ではこのようは段階との説明のほうが分かりやすい。報告できる数値は、報告してもらったほうが各委員もわかりやすい。

○会長

指標等についていくつか意見がでました、事務局で検討していくように。

## 5 閉 会

副会長

利用者が少ない事業もあるが、1人でも2人でも数ではないと思う。これらの事業があることで救われている人達がいると感じる。